

IV 調査結果の要約

IV 調査結果の要約

1. 本市の観光まちづくりの取組について

○市内において国内外からの観光客や宿泊客が増えた実感はあるか（問7）

市内において国内外からの観光客や宿泊客が増えた実感はあるかをたずねた。「実感がある」が28.5%、「どちらでもない」が11.8%、「実感がない」が38.9%となっている。

○外国人観光客と交流したいか（問8）

外国人観光客と交流したいかをたずねた。「はい」が15.8%、「いいえ」が83.1%となっている。

○外国人観光客とどのような交流をしたいか（問9）

外国人観光客とどのような交流をしたいかをたずねた。「コミュニケーションを図りたい」が60.1%と最も高く、次いで、「イベントなどで交流したい」が47.3%、「観光案内や観光ガイドをしたい」が12.3%となっている。

○一般社団法人東大阪ツーリズム振興機構の認知度（問10）

一般社団法人東大阪ツーリズム振興機構の認知度をたずねた。「知っている」が4.7%、「知らない」が94.3%となっている。

○「ひがしおおさか体感まち博」の認知度と参加経験（問11）

「ひがしおおさか体感まち博」の認知度と参加経験をたずねた。「知っており、参加したことがある」が1.1%、「知っているが、参加したことはない」が17.6%、「知らない」が77.8%となっている。

2. ごみの分別について

○ご自宅で分別しているごみについて（問 12）

ご自宅で分別しているごみについてたずねた。

「①プラスチック製容器包装」について、「分別している」が 79.6%、「分別していない」が 17.1%となっている。

「②古紙類（新聞・雑誌・ダンボールなど）」について、「分別している」が 79.5%、「分別していない」が 18.7%となっている。

「③かん」について、「分別している」が 94.1%、「分別していない」が 2.8%となっている。

「④びん」について、「分別している」が 93.7%、「分別していない」が 2.7%となっている。

「⑤ペットボトル」について、「分別している」が 87.6%、「分別していない」が 8.9%となっている。

「⑥衣類」について、「分別している」が 57.7%、「分別していない」が 35.1%となっている。

「⑦小型家電」について、「分別している」が 84.8%、「分別していない」が 5.9%となっている。

「⑧パソコン」について、「分別している」が 74.5%、「分別していない」が 8.9%となっている。

「⑨蛍光管」について、「分別している」が 80.7%、「分別していない」が 10.0%となっている。

「⑩乾電池」について、「分別している」が 74.7%、「分別していない」が 17.9%となっている。

「⑪充電電池」について、「分別している」が 70.9%、「分別していない」が 16.4%となっている。

○分別していない理由（問 13）

①プラスチック製容器包装

プラスチック製容器包装を分別していない理由をたずねた。「汚れを落としたり、分別することが面倒である」、「プラスチック製容器包装が大してたまらないため」がそれぞれ 37.0%と高く、次いで、「排出日時や場所がわからない」が 17.8%、「分別にあまり関心がないため」が 16.9%、「排出場所（資源ステーション）が自宅から遠い」が 7.8%となっている。

○分別していない理由（問 13）

②古紙類（新聞・雑誌・ダンボールなど）

古紙類を分別していない理由をたずねた。「古紙類が大してたまらないため」が 55.0%と最も高く、次いで、「排出日時や場所がわからない」が 29.6%、「分別することが面倒である」が 8.8%、「回収頻度が少ないため、日程が合わない（集団回収）」が 7.5%、「排出場所（集団回収や拠点回収の集積場）が自宅から遠い」が 6.7%となっている。

○出し方がわからなかったごみはあるか（問 14）

出し方がわからなかったごみはあるかたずねた。「充電池」が 25.0%と高く、次いで、「乾電池」が 22.6%、「パソコン」が 18.2%、「蛍光管」が 17.5%、「衣類」が 16.5%となっている。一方、「ない」が 41.3%となっている。

○その後ごみをどうしたか（問 15）

その後ごみをどうしたかをたずねた。「捨てずに持ち続けている」が 36.2%と最も高く、次いで、「出し方がわからないまま捨てた」が 31.1%、「出し方を調べ、分別して捨てた」が 29.2%、「リユースショップに売却または引渡した」が 11.0%、「知人に譲った」が 3.7%となっている。

○ごみの分別方法の調べ方（問 16）

ごみの分別方法の調べ方をたずねた。「ごみの分別パンフレット『ごみの分け方・出し方』紙冊子」が 66.9%と最も高く、次いで、「市ウェブサイト」が 24.7%、「家族や知人、近隣の方に聞く」が 22.6%、「市への問合せ」が 9.5%、「ごみの分別アプリ『さんあ〜る』」が 7.7%となっている。

3. 本市の文化芸術について

○本市のこれまでの文化芸術の取組について（問 17）

本市のこれまでの文化芸術の取組についてたずねた。

「①文化施設は、人とのつながりやコミュニケーションができる場となっている」について、「思う」が 28.3%、「思わない」が 6.9%となっている。

「②緑の自然環境や歴史、文化財など地域の資源を活かしたまちづくりができています」について、「思う」が 18.3%、「思わない」が 11.9%となっている。

○どのような人にむけて文化芸術に触れる機会を提供すべきか（問 18）

どのような人にむけて文化芸術に触れる機会を提供すべきかをたずねた。「小学生」が 43.6%と最も高く、次いで、「中学生」が 40.3%、「高校生」が 29.4%、「高齢者」が 26.2%、「仕事や子育てで時間に追われている人」が 20.1%となっている。

○アートコーディネーターがいた場合どのような役割を期待するか（問 19）

アートコーディネーターがいた場合どのような役割を期待するかをたずねた。「地域で活動するアーティストと教育施設や福祉施設を繋いでほしい」が 42.7%と最も高く、次いで、「音楽や絵を習うなど、気軽に文化芸術に触れたいときや、文化芸術を披露・指導する場がほしいときに相談に乗ってほしい」が 37.3%、「地域社会が求めている文化芸術プログラムを探してほしい」が 27.3%、「学校が抱えている課題を文化芸術プログラムで解消してほしい」が 27.1%となっている。

○どのような事業を実施するべきだと思うか（問 20）

どのような事業を実施するべきだと思うかをたずねた。「音楽」が 60.3%と最も高く、次いで、「生活文化（茶道・華道・書道・食文化など）」が 38.7%、「文化財・歴史」が 37.8%、「美術」が 36.5%、「メディア芸術（映画・漫画・アニメなど）」が 35.1%となっている。

4. 市内斎場（火葬場）の利用について

○東大阪市立斎場の利用経験（問 21）

東大阪市立斎場の利用経験の有無をたずねた。「ある」が 46.5%、「ない」が 51.0%となっている。

○利用した斎場の立地条件（問 22）

利用した斎場の立地条件についてたずねた。「良かった」が 10.6%、「普通」が 53.5%、「良くなかった」が 25.3%となっている。

○利用した斎場の環境（問 23）

利用した斎場の環境についてたずねた。「快適だった」が 5.7%、「普通」が 54.7%、「快適ではなかった」が 29.2%となっている。

○利用した斎場の清潔感（問 24）

利用した斎場の清潔感についてたずねた。「清潔感があった」が 13.6%、「普通」が 60.7%、「清潔感がなかった」が 14.9%となっている。

○新斎場を整備するにあたり必要と考える機能や設備（問 25）

新斎場を整備するにあたり必要と考える機能や設備をたずねた。「バリアフリースイレ」が 57.0%と最も高く、次いで、「食堂・喫茶室など」が 41.3%、「庭園などの憩いの空間」が 41.1%、「売店・自販機」が 39.6%、「キッズスペース」が 27.6%となっている。

5. 健康について

○歯ぐきの状態（問 26）

歯ぐきの状態をたずねた。

「①歯ぐきが腫れている」について、「はい」が 12.5%、「いいえ」が 83.1%となっている。

「②歯を磨いた時に血が出る」について、「はい」が 18.7%、「いいえ」が 77.4%となっている。

○「フレイル」という言葉の認知度（問 27）

「フレイル」という言葉の認知度をたずねた。「言葉も意味も知っている」が 22.3%、「言葉は知っているが、意味は知らない」が 13.4%、「言葉も意味も知らない」が 62.4%となっている。

6. 食育について

○食育に関心があるか（問 28）

食育に関心があるかたずねた。「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた『関心がある』は 72.1%、「どちらかといえば関心がない」と「関心がない」を合わせた『関心がない』は 19.1%となっている。

○朝食を食べているか（問 29）

朝食を食べているかたずねた。「毎日食べている」が 78.8%、「週に 4～5 回食べている」が 4.5%、「週に 2～3 回食べている」が 4.4%、「ほとんど食べない」が 11.2%となっている。

○生活習慣病やフレイルの予防を実践しているか（問 30）

生活習慣病やフレイルの予防を実践しているかたずねた。「実践して半年以上である」が 36.5%、「実践しているが、半年未満である」が 4.6%、「ときどき実践しているが、継続的ではない」が 33.4%、「現在は実践していないが、近いうちにしようと思っている」が 11.6%、「現在も実践していないし、しようとも思わない」が 11.0%となっている。

7. 市政に関する情報の入手先について

○市政に関する情報の入手先（問 31）

市政に関する情報の入手先をたずねた。「東大阪市政だより」が 82.5%と最も高く、次いで、「市ウェブサイト」が 16.6%、「家族・知人・友人」が 15.8%、「新聞・テレビ・雑誌など」が 13.8%、「町内の掲示板」が 11.6%となっている。

○東大阪市政だよりの閲覧状況（問 32）

東大阪市政だよりの閲覧状況をたずねた。「毎号読む」が 48.0%、「ときどき読む」が 37.9%、「読まない」が 12.6%となっている。

○虹色ねっとわーくの視聴状況（問 33）

虹色ねっとわーくの視聴状況をたずねた。「ほとんど毎日」が 0.9%、「週に数回」が 4.8%、「月に数回」が 10.7%、「見ていない」が 53.7%となっている。

○市ウェブサイトへのアクセスにより欲しい情報が見つかったか（問 34）

市ウェブサイトへのアクセスにより欲しい情報が見つかったかたずねた。「サイト内検索を利用して見つけることができた」が 19.0%と高く、次いで、「Google、Yahoo!などの検索サイトから直接、市ウェブサイト内の情報を見つけたことができた」が 14.8%、「関連するページから見つけることができた」が 10.0%、「市公式 SNS（Facebook、LINE、X（旧 Twitter）、Instagram など）から市ウェブサイト内の情報を見つけたことができた」が 7.7%、「見つけることができなかった」が 5.7%となっている。一方、「利用したことがない」が 47.4%と最も高くなっている。

○市公式 SNS のうち、欲しい情報の入手方法（問 35）

市公式 SNS のうち、欲しい情報の入手方法についてたずねた。「市 LINE 公式アカウント」が 16.0%と高く、次いで、「市公式 X（旧 Twitter）」が 4.1%、「市公式 Instagram」が 3.3%、「市公式 Facebook」が 1.8%、「市公式 SNS から見つけることができなかった」が 1.6%となっている。一方、「利用したことがない」が 72.5%と最も高くなっている。